

近畿中央呼吸器センターに受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在近畿中央呼吸器センターでは、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

肺癌組織内 PD-L1 発現と関連する臨床病理学的因子の探索：横断研究

●研究の目的と意義

わが国における肺癌死亡数は部位別癌死亡数で男女とも第1位であり、その治療の向上が求められています。近年、免疫チェックポイント阻害剤の肺癌治療に対する有効性が明らかになり、その重要性が増しています。特に、癌細胞に「PD-L1」と呼ばれるタンパク質が存在しているかどうかは免疫チェックポイント阻害剤の治療効果を予測する上で重要な判断要素の一つとなっています。

しかし、癌組織内の PD-L1 の存在に影響を及ぼす因子、すなわち、患者さん自身の個人的特徴、および罹患された肺癌の特徴・性質に関しては十分な理解が得られておらず、その知見は不足しています。

この関係性の理解は、免疫療法に対して良好な効果を示す可能性のある患者さんの特徴や、その治療効果に関連している因子の特定に寄与し、これらの知見は、今後の免疫療法に対するより適格な使用に関する重要な情報となると考えられます。

本研究は、肺癌に対して、外科で切除術を受けられた患者さんを対象として、手術時点で得た患者さん個人の情報と、切除された癌組織における病理学的な情報を収集・解析することにより、切除された癌組織内の PD-L1 の存在に関連する因子を評価、特定することで、肺癌治療における免疫療法の向上に繋げることを目的としています。

●対象となる患者さん

2016年1月から2020年1月の間、当院で肺癌切除術を受けられた患者さん。

●使用させて頂く診療データ

性別、年齢、喫煙歴、癌既往歴、血縁者癌既往歴、Stage、組織型、癌組織の遺伝子変異の有無、などの患者さんのデータ

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。情報は研究代表者をはじめとした当院の共同研究者のみで共有します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切使用しません。

* 上記の研究に対して、カルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても今後、患者さんが診療上の不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡に対しては、申し訳ありませんが対応致しません。

●問い合わせ先

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 外科

小島 健介

住所：大阪府堺市北区長曾根町 1180 電話：072-252-3021（代表）